

やまご



※2025/03しおりアップデートにあたり、特にご確認いただきたい事項です。主な変更/追記等箇所は**橙色字**になっています。

ページ	確認事項	備考
6	ふき-わらびの構成について	2025年度前半は、より創造的な環境設定を試みます。
8	休業中の土曜保育利用について	
	在園児の一時預かりの保育時間について	
	求職中/育児休暇中の保育時間について	
12	野外活動の安全対策について	
10	止水板設備について	2024年度の大雨による浸水を経て、園舎開口部に止水板設備を導入。
19	打刻について	
21	園庭開放について	
22	土曜イベントの免責について	
27	帽子の価格について	GOLDWIN社の価格改定に伴い値段が変更となります。
24, 28	キャラクターものについて	表現を追記しました。
30	日常用品の記名について	改めてご確認ください。
31	年長児積立金の運用について	これまでは年長の活動経費を園と保護者負担の折半で運用してまいりましたが、積立金にて不足する分を園が補う運用とさせていただきます。

「やまのこ」が目指すもの	4
保育環境 「やまのこ」の環境づくり	5
保育環境 「やまのこ」の人的環境	6
保育環境 園生活の一日の流れ	7
保育環境 保育時間について	8
保育環境 ゆっくり保育（入園時慣らし保育）について	9
安全衛生 安全対策について	10
安全衛生 園外活動時の安全対策	11
安全衛生 健康管理について	13
安全衛生 感染症から回復後の登園について	14
安全衛生 その他	16
園で発病した場合・与薬について	16
個人情報の取り扱いについて	16
食 やまのこごはん（給食）についての考え方	17
食 「やまのこ」の離乳食について	18
家庭とのつながり 保護者⇄園の公式連絡ツール「コドモン」	19
家庭とのつながり 保護者運営のコミュニケーションツール「Slack」	20
家庭とのつながり つながり隊について	21
家庭とのつながり 保護者がやまのこと出会い、つながる機会	22
家庭とのつながり 「やまのこ」からの発信について	23
服装 毎日の衣服について	24
服装 布パンツについて	25
服装 園所有のレインウェア・長靴・ライフジャケット	26
服装 やまのこオリジナル帽子・通園リュックのご案内	27
持ち物 毎日の持ってくるもの・保育園で預かるもの	28
持ち物 記名のお願い、製作をお願いするもの	30
利用案内 保育料について	31
利用案内 送迎時、駐車スペースについて	33
YAMANOKO CHILDCARE CENTER 施設概要	34

「やまのこ」が目指すもの

わたしたちの願い（保育目標）

今を幸福に生きる人として、地球に生きているという感受性を持った人として、
子どもたちが成長していくことを願い、保護者とともに歩む

このような保育を心がけます（保育方針）

- * 一人ひとりに流れている時間を大切に
- * 自らの意思で選び、取り組むことができる環境づくり
- * 太陽や土、水、草花、生きものたちと存分に遊べるように
- * かしく、しなやかな身体が育つように

わたしたちが目指す大人の態度

- * 観察し、応答的に関わる
- * 観察を結びつけ、統合的に発達を捉える
- * 問いと試行を繰り返す、探索する
- * 多様性と多面性を前提に、対話する

2022年度の職員研修にて、上記2項目（保育方針、わたしたちが目指す大人の態度）を改訂しました。わたしたちは、子どもたちと共に暮らし、現在と未来を作っていく当事者として、多様な視点を交わしながら常に前提を問い続けます。観察と対話によって本質を見極めることに挑戦しながら、「やまのこが目指すもの」は変化を続けます。

Spiber株式会社について：Well-beingの追求「幸せに生きる」

やまのこ保育園homeとやまのこ保育園は、Spiber株式会社（以下Spiber）が運営する企業主導型保育所です。

Spiberは、鶴岡に拠点を置く2007年創業のバイオベンチャーで、植物由来の糖類を原料に、微生物による発酵生産技術で構造タンパク質素材の研究開発を行っています。Spiberが掲げる理念は「人類の持続可能なウェルビーイングの実現」。やまのこの願いや実践もこの理念に基づき、理念を体現する役割を持っています。

人の究極的な目的は「幸せに生きる」ことであり、教育の目的も「幸せに生きる人」を育むことだと考えます。子どもから大人まで、関わるすべての人がよりその人らしく生きられるよう、やまのこは包括的な暮らしのコミュニティと新たな教育のあり方を探求していきます。

*このしおりでは、やまのこ保育園homeとやまのこ保育園の2園を総称して「やまのこ」と表記します。また、やまのこ保育園（2-5歳児）を区別しやすくするために、yamanokoと表現することもあります。

保 育環境 | 「やまのこ」の環境づくり

やまのこの環境づくりは、子どもを観察するところから始まります。

子どもが繰り返しておこなっていることや、興味を示しているもの、じっと観察しているものが必ずあります。その対象は、一人ひとり違います。そのため、子どもを観察することなしには環境を作ることではできません。一人ひとりの発達や興味に合った環境を用意し、環境と繋げることが大人の役目だと考えます。

たっぷり繰り返す時間、選ぶ自由が尊重されていることで、心が満たされると同時に、自分のできる最大限の努力をし、思ったように体が動かせるようになっていくのです。子どもたちの小さな選択が自立に繋がっていきます。

また、やまのこでは、子どもたちの発達を最も促すのは、より多様で複雑な刺激を受け取れる屋外環境であると考えています。そのため、雨や雪の日も、散歩や園庭での活動を行います。

「やまのこ」の保育環境

	やまのこ保育園home (ふき組、わらび組) 0-2歳児	やまのこ保育園 (yamanoko) 満2-5歳児
コンセプト	家	ラボ/アトリエ
	＊ 睡眠や食、運動など個々の発達に合わせて小さな人たちがゆったりと自分で生活できる手伝いをする暮らしの場 ＊ 小さな人たちが身体や五感を使って世界とたっぷり関わる、出会いと探求の場 ＊ はじめての集団生活をささえる少人数で家庭的な人的環境	＊ 畑、食、ものづくりから、遊びやルールまで、子どもたちと自らの手でつくる暮らしの場 ＊ アトリエ、クッキング、ガーデン等、エリアを自由に行き来し自分のやりたいことを選択できる探求の場 ＊ クラスがなく、異年齢が混ざり、見て真似て、感じて考えて学びあう人的環境。活動によって年齢構成を組み替え、全保育者で全園児の保育をします
園庭	各園、庭にコンポストと畑があり、土作り～種まき～収穫～食べる～土に還る循環システムを子どもたちが体感できる環境です。おやつバナナの皮など、野菜の皮をコンポストに入れ、それが微生物の働きで土に還り、その土でハーブや果樹、野菜を育てます。庭は、様々な生き物と共に、暮らしを楽しく美味しくしてくれる、ちいさな生態系です。	
野外フィールド	近隣の原っぱや公園、畑、田んぼ、川辺が遊び場です。 0-3歳児は、園周辺の道端や小さな空き地で、たくさんの発見や冒険に出会います。 満4歳前後から、山、海、川、森に、車で15分の立地を生かし、週1回、園バスで野外フィールドに出かけます。 四季がはっきりとしている庄内だからこそ、どの季節もたっぷりと自然と出会い、存分に遊び、自身が生態系とつながっていることを体感しています。毎年フィールド開拓を続けて遊び場が広がっています。	

園外活動「森/川/海の日」について

体が大きくなり、より多様な環境を求めるようになった3-5歳児の子どもたちが自然環境の中で過ごすことができる機会を設けています。色彩、香り、感触等において、野外は園よりも圧倒的に情報量が多い環境です。また、好奇心を刺激する素材も多いので、子どもたちが自分自身で遊びを創り出し、広げます。運動面でも、自由に動ける空間が広く、傾斜もあることで、走ったり、転がったり、滑ったりといった、普段とは異なる運動をする姿が見られます。フィールドに親しむほど、体の動かし方がダイナミックになっていく様子も見られます。

週に1回、または隔週に1回程度の頻度で、秋から春は森、夏は川や海に出かけます。昼食を現地で食べることも多く、火が使える時には子どもたちと飯盒で米を炊いたり、野菜や果物を焼いたりします（味噌汁とおかずは園で調理して持ってきています）。

幼児期のうちから多様な情報に触れ、自らの体を動かし、あそびの中で他者との様々な関係性を経験して豊かな感性を身につけることは、技術や情報、環境の変化が早い時代を生きていく子どもたちの将来に大きな影響を与えると私たちは考えます。

庄内という自然豊かな環境を日々の中に取り込むことで、それを実現したいと考えています。

なお、「森/川/海の日」に参加するタイミングは園とご家庭とで相談しながら決めています。

保育環境 | 「やまのこ」の人的環境

やまのこの子どもたち（異年齢でのかかわり）

やまのこの暮らしは、年度ごとの年齢でクラス分け（＝年齢別保育）するのではなく、一人ひとりの子どもの成長の過程や異年齢の関わり合いの中での学びあいを重視した「異年齢保育」と「自由選択遊び」を中心としています。

子ども一人ひとりがそれぞれの発達にふさわしい保育環境で生活し、それぞれの欲求に応じた遊びや活動を充分に行えることを大切にしているためです。また、年齢の違う子どもたちが一緒に過ごすことで、年下の子が年上の子の行動を見て好奇心や意欲を高めたり、年上の子が年下の子と接しながら、他人と共に生きる気持ちを育んだり、互いに影響を与えあいます。

クラスの特徴と移行時期の目安について

一人ひとりの成長に応じて、年度の途中でも上のクラスに移行（＝進級）します。「移行」により、子どもはそれぞれの成長に最もふさわしい環境や時間で生活することができ、その時期ならではの活動や遊びを思う存分体験し、心地いい友達関係の中で過ごすことができます。移行にあたっては、保護者の方にもご相談の上、丁寧に進めていきます。

0歳児	やまのこhome ふき組	6ヶ月～15ヶ月ごろ	＊ 特定の大人との関係性を通じて、保育園という場所への安心感を育む ＊ 気温や物の手触りなどを通じて外部環境と出会う ＊ ハイハイから歩行への移行を中心として、様々な身体の動きが広がる
満1-2歳児	やまのこhome わらび組	15ヶ月～2歳半ごろ *2025年度はクラスの構成をより創造的に考えていきます。	＊ 月齢によってできることの違いが大きい時期。例えば歩き始めで歩くこと自体が楽しい月齢の人と、歩行が安定し探検することが楽しい月齢の人とで、クラスの中でも活動を分けることがある ＊ 言語によるコミュニケーションが始まり、子どもたち同士の関わり合いも増える ＊ 食事、午睡（無理のない一回睡眠）等の生活リズムが整ってくる ＊ 離乳が完成する（「離乳食 食材チェック表」の食材が確認済である）
やまのこ保育園homeからやまのこ保育園へ移行します。 ＊ 移行期間は、十分に設定し、子どもたちと日常の保育において両園の環境を行き来しながら、場や人、時間の流れにゆっくりと慣れていきます。また保育者と保護者との移行面談なども可能です。			
満2-5歳児	yamanoko	2歳半前後から 小学校入学まで ＊年齢はあくまで 目安です。	＊ 本人が、やまのこhomeの環境に飽き足らなくなってきた ＊ 外遊びを中心に活動できる体力がついている ＊ 自分にとっての困難や対立を経験し、乗り越えようとする ＊ 円座でやりたいことや気持ちを話したり聞いたりする場に参加する ＊ おおよその身辺自立が整っている（朝の支度や自分の物の管理、排泄の自立などを含む）

やまのこの大人たち

やまのこは、暮らしの場であり、学びの場であり、生命の現場です。やまのこの大人たちは、教育はもちろん、農業、食、アート、医療、野外活動、生命科学など、様々なバックグラウンドを持った大人が集まっています。

- ＊ 保育者は基本的にSpiber株式会社 文化環境部門 保育事業セクション所属の社員です。
- ＊ 一部の時間帯、シルバー人材センターから紹介いただいたサポートスタッフや業務委託スタッフ等が消毒清掃や配膳などを担当します。

呼び名はファーストネーム

子どもと大人を垂直的な関係と見るのではなく、水平的な関係と捉えます。関係性をつくる上で呼び方を大切に考え、子どもたちは大人を「〇〇先生」ではなく「〇〇さん」とファーストネームで呼びます。

保護者とも子育てのパートナーとして、「〇〇ちゃんのパパ/ママ」ではなく、ファーストネームで呼び合います。

保育環境 | 園生活の一日の流れ

以下の時間を目安として、日々の子どもたちの体調や興味に応じながら1日を過ごしています。

7:30	開園
9:00	登園完了 <u>保育内容の関係から、9 時までの登園をお願いします。</u> おやつ（ふき組、わらび組）
9:30-10:00 ころ	朝の集い（yamanoko） 自由選択活動
	室内外遊び・散歩・園外活動
11:30	食事
12:30	午睡 ※5歳児後半は小学校入学に向けて徐々に減らしていきます
15:00-順次	起床 おやつ 自由選択活動
16:00	降園開始
18:30	基本保育時間終了（閉園。 <u>18:30の閉園時間までに園舎を出て頂くようご協力をお願いします。</u> ）

保育者の動き

その日の子どもたちの人数や体調・遊びの広がり方によって適切な保育者人数を配置します。
保育に入らない大人は、保育環境をアップデートするための準備やミーティング、個人記録の作成などに時間を使います。
子どもたちが午睡している間に、可能なときは保育者が集まり、その日の保育の振り返りを行なっています。
振り返りで話したことが、次の日以降の保育環境や関わり方などにつながっていきます。

「やまのこ」の行事の考え方

やまのこの毎日は、子どもたちの発見や興味、関心、熱中していることに溢れています。
私たちの行事は、日々の子どもたちの姿から「これやってみよう」が導かれ、子どもたちの姿に応じて作られています。
「やってみよう」はリアルタイム。子どもたちの発案で旅（という名の遠足）に出掛けることもあれば、ハーブが獲れる時期には日々ハーブパーティーが行われ、「クリスマス会がやりたい」という子どもの声でクリスマスパーティーが始まります。
日々の営みの延長で、季節や文化的な願いが反映された行事が企てられ、営まれています。
予め設定している餅つきや味噌づくりなど、保護者の方々に参加いただく機会（p.22参照）は、新年度4月に年間カレンダーでお知らせしていますが、子どもたちの姿からリアルタイムで編まれる日々の営みとしての行事については、お知らせが間際になることも多く、ときに保護者の方々に驚かせてしまうこともあるかもしれません。密なコミュニケーションを心がけたいと思いますので、子どもたちの「これやってみよう」を一緒に応援いただければ幸いです。

保育環境 | 保育時間について



保護者の通勤時間や勤務時間等の状況に応じて降園時間を決定します。その上で職員のシフトを作成し運営を行っています。勤務形態の変更（育休・転職など）変更があった場合は必ずお申し出下さい。必要な保育時間を調整します。

- * 送迎に際して、必要な保育時間が15分以上前後する場合は保育者配置を調整するため都度ご連絡ください。
- * 保育内容の関係から、9時までの登園完了をお願いいたします。遅刻/欠席連絡も9時までにコドモンでご連絡ください。

必要な事前連絡		留意事項
早朝保育 7:30-8:30	前日までのコドモン連絡 (イレギュラーな場合のみ)	法令上、子どもの人数に対して必要な保育士の数が定められており、当日急な増員があった場合に法令違反となる可能性があります。そうした状況避けるためにも、普段は利用者数が少ない早朝（7:30-8:30）の時間帯の児童数を把握する必要があるため、仕事の都合でイレギュラーに8:30以前の登園が必要になる場合は、コドモンにて前日までにご連絡ください。通常の登園時間が8:30以前のご家庭は連絡不要です。
延長保育 18:30-19:00	17:00までに電話連絡 * コドモン不可	300円 / 18:30 - 19:00 18:30 を過ぎての打刻の場合、延長保育料金が加算されます 延長保育料のお支払いは、月末締め、翌月の保育料と共に引き落としです
土曜保育	1週間前までのコドモン連絡 【連絡事項】 ・保育希望日 ・登園、降園予定時間 ・就労事由が分かる一文	土曜日に「親の勤務等で保育が必要な子ども（家庭で見ることができない）」の為に実施されます。そのため、ご両親とも勤務である方に限らせていただきます。 また、園の活動は、子どもたちの体力や体調管理に配慮し、登園 5 日・休息2日を念頭に組み立てています。土曜保育を利用した際は、土曜保育がある週末または翌週の月曜日のお休みなど調整をお願いいたします。 * 就労以外の目的で土曜に保育利用の場合は一時預かり保育となります。 * 一時預かり保育の利用者のみでは園の開所ができません。就労事由での土曜保育利用があり開所している場合にのみ、一時預かり保育がご利用いただけます。 * ただし、片方の親が産前産後休業あるいは育児休業中で、もう片方の親が就労の場合には、そのご家庭のみでも土曜保育をご利用いただくことが可能です。 給食について：白飯のみご家庭よりお持ちください。おかずは、ご家庭の負担を減らすため、2022年4月より土曜保育利用者が1名でも園で用意しています。 昼食費は月額固定で徴収しておりますので、追加徴収はありません。
一時預かり/ 求職事由の 保育園利用	育児休業開始/終了の際は、就労証明書をご提出ください。 育児休業の終了予定日が変更になった場合は、保育園にも共有ください。	原則 9:00 - 16:00 ご両親の就労がない日においても、一時預かりの枠でお子さんをお預かりできます。追加での料金は発生しません。 * 育児休業中も、基本的には上記の保育時間としますが、各家庭のニーズにより個別対応可能ですので、ご相談ください。 * 産前産後休業中の保育時間は、就労中の保護者の就業時間に基づきます。

入園時点の状況からご家庭の状況（住所や緊急連絡先）や勤務状況など、何か変更が生じた場合には必ず届出をお願いします

必要な申請		留意事項
家庭調査票/緊急連絡簿 記載の内容に変更が生じた場合	変更届	園にお知らせ頂いている氏名・住所・電話番号・勤務状況等に変更があった場合、書面にてお知らせください。 書式はコドモンアプリ＞資料室＞変更届からダウンロードできます
退園される場合	・退園届 ・企業主導型保育事業利用終了報告書	退園の1ヶ月前までに園にお知らせください。 退園届など必要な書式をお渡しします。

保育環境 | ゆっくり保育（入園時慣らし保育）について

はじめての入園後数日間は、お子さんにとっては、環境の異なる新しい生活になります。少しずつ時間を延ばしながら保育園に慣れていくことができるように保育を進めていきたいと考えています。

ゆっくり保育につきましては、個別面談の際に日程を決めます。

入園当初の保育時間を下記のように設定しておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

やまのこ保育園home：0-2歳児（目安）

		登園時間	お迎え時間	
1～5日目	ゆっくり保育期間	9:00	11:00～11:30	初日ようこそ会（保護者同席）
6～10日目		9:00	12:00	給食開始
11～15日目		9:00	16:00	お昼寝開始
15日目以降	通常保育開始			

やまのこ保育園：3-5歳児（目安）

		登園時間	お迎え時間	
1日目	ゆっくり保育期間	9:15	11:00	ようこそ会（保護者同席）
2日目		9:00	12:30	昼食後のお迎え
3日目		9:00	16:00	お昼寝・おやつ後のお迎え
4日目以降	通常保育開始			

＊ ゆっくり保育の期間は、9:00の登園をお願いします。

＊ 早朝・延長保育は通常保育が始まってからとなります。

＊ 個々の状態に合わせて、保護者の方と相談しながら上記の表とは違う日程で対応をさせていただくことがあります。

＊ 兄弟で一緒に入園する場合は、下の子のスケジュールに準じます。

＊ 両園共に、登園初日に「ようこそ会」（それぞれの子どもたちの入園のタイミングに合わせて行う、小さな歓迎の会）を行います。登園した後、保護者と一緒に会に参加し、その日は保護者と一緒に過ごして降園となります。

安全衛生 | 安全対策について

「子どもが健やかに育ってほしい」という想いは、保護者も保育者も共通です。同時にわたしたちは、「子どもは怪我をしながら育つ」ということを知っています。日々の生活の中で起こる怪我については、次のような考え方に基づきながら、安全対策の向上に努めています。

子どもの育ちにおいて様々な領域で「できない」から「できる」ようになるまでの過程には「うまくいかないこと」がたくさんあり、その中で怪我をすることがあります。あそびの中で小さな怪我を経験しながら、大きな怪我にならない身のこなしを学んでいくこともあります。言葉で表現できない場合は特に、子ども同士の関わりの中で手が出て怪我を負うことや怪我をさせてしまうこともあります。0歳児の頃から、さまざまな環境で身のこなし方や人間関係の構築を練習しておくことが、大きくなって活動の幅が広がった時の心身の安全に直結していることを、わたしたちは実感しています。たくさん学んだ人ほど、しなやかです。

保育者は、子どもが自立していく将来を見据えて子どもの「できる」が増えることをサポートしつつ、事故防止と心身の安全に配慮しながら、常に安全対策の向上に努めています。具体的には、研修や事故事例を通じて学びの機会を設けたり、ヒヤリハットデータを蓄積したり、園内や散歩先の環境を定期的に点検してハザードを確認します。

【その他安全対策】

睡眠時の安全について	乳幼児突然死症候群（SIDS）予防のために、0歳児は5分に一度、1-2才児は10分に一度の睡眠チェックを行います。SIDS予防のために下記のことが推奨されています。 1歳まではうつぶせ寝をしない。 - 家族の禁煙 - できるだけ母乳で育てる。 - 睡眠環境の暖め過ぎを避ける。（部屋の温度、着衣） 布、枕、おもちゃ等柔らかいものを頭の周りに置かない。 - 硬いマットレスを使いシーツがたるまないように張る。 厚生労働省「乳幼児突然死症候群について（SIDS）」より出典 保育施設で起こったSIDSについて、その日体調が良くなかったという報告もありますので、体調不良時の登園はなるべく控えていただくようにお願いします。
火災・防災 対策について	消防について：火災報知設備と連動して消防署と直結連絡できるようになってます。
地震・豪雨など	震度5弱以上の地震が発生した場合は、臨時休園となります。 豪雨や悪天候の場合は、3つの条件（①警報が出ている、②JR羽越本線が運休している、③近隣小学校の臨時休校や一斉下校指示が出ている）が揃った場合に、対応可能な範囲での家庭保育のご協力をお願いする配信を行います。 また、園舎への雨水の侵入を防ぐ止水板を設置します。 ※その他、豪雨等の災害時の対応は、厚生労働省が策定を進める基準に準じます。
災害時の連絡	保護者にメールアドレスを登録していただき、一斉メールでの情報送信、およびコドモンでの配信を基本にします。
避難訓練	毎月火災・地震・不審者のいずれかを想定した訓練を行います。 定期的に防犯訓練、救急救命訓練（職員対象）を適宜実施します。
防犯対策について	ALSOK非常警報システムを契約しています。
保護者の方への引き渡し訓練	毎年一回、鶴岡市より第二避難所として指定されている鶴岡中央高校へ全園児・全職員が避難し、現地に迎えにきた保護者の方（「園児引き渡しカード」に記載されている「引き取り人」の方）へ園児を引き渡す訓練を実施します。
虐待防止について	園で虐待防止マニュアルを作成しています。虐待が疑われる場合には、保護者と子どものプライバシー保護について十分配慮した上で、園長と相談し、必要に応じて児童相談所へ連絡します。
道具（火や包丁、のこぎり等）の使用について	道具は便利である故に危険な面もあります。子どもたち自身が「やりたい」ことを「できる」ようになるために、子どもたちのニーズと現場の状況、個々の子どもの発達段階や特性をよく観察し、保育者は子どもの「やりたい」をサポートします。道具の使用の際には保育者間で情報共有し、必要に応じてより安全を確保できる保育態勢（人員配置等）をとります。

安全衛生 | 園外活動時の安全対策

森/川/海の日を中心として、季節に応じて孟宗掘りや初詣などに出かけることがあります。各活動場所は事前の下見し、ハザードマップを作成しています。また、事前に保育者間で入念に打ち合わせ、大人の人数や配置、活動計画を設定しています。特に水量や積雪状況など、日によって状況が変わる野外フィールドにおいては当日も下見をし、実施可否を判断しています。

健康な心身が、安全管理の基礎になります。特に野外フィールドでは、体力を使います。園外活動の前後では、ご家庭でも十分に休養できるようにお過ごしください。園外活動のスケジュールはコドモンカレンダーにてご連絡します。

園外活動の行き先の例

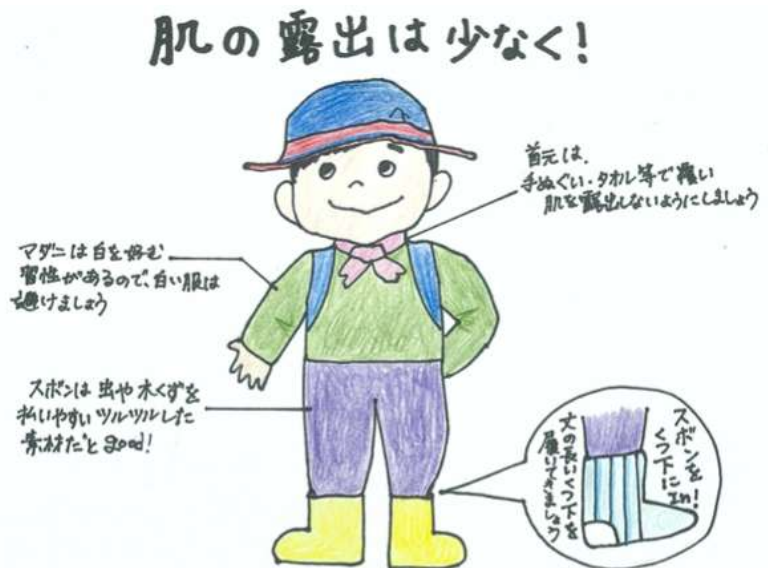
けやきの森（鶴岡市藤沢字軽井沢234）、八森山（鶴岡市三瀬字山田150-3）、せせらぎ公園（鶴岡市水沢250）、加茂レインボービーチ（山形県鶴岡市今泉）、出羽三山神社（鶴岡市羽黒町手向羽黒山33番地）、荘内神社（鶴岡市馬場町4-1）

森/川/海の日^①の服装（具体的な持ち物はp.29 をご確認ください）

健康な心身に次いで、野外フィールドに出る時には適切な装備であることが大切です。

○森の日の服装（イラストをご確認ください）

- * 服装は、マダニや毛虫、草によるかぶれなどを予防するために、肌の露出をさせない長袖長ズボンです。蜂が好む黒色は避けてください（マダニは白色を好むと言われますので避けられるとよいです。ズボンはつるつるした素材だと虫を払いやすくよいです。アウトドアブランドの物だと通気性も良いのでムレたりすることがないようです）
- * 夏は特に、熱中症予防のため通気性の良い服をご用意ください。
- * 厚手のふくらはぎまである靴下を履いて登園をお願いいたします。予備の靴下も同じタイプのものを持参してください。（足首から虫などが入ることを防ぐため。靴下をズボンの上にあげて、その上に長靴を履きます。）
- * 虫除けスプレーは、ハッカ油、エタノール、精製水で園で作ったものを使用し、森に入る直前に吹きかけ、お昼にもう一度吹きかけるようにします。



○森の日（冬）の服装

- * 暖かい服装の上に、スノーウェア、スノーブーツ、ゲイター、帽子、手袋を装備します。
- * 濡れることを防いで体を冷やさず、着脱によって体感温度を調節できることがポイントです。

○川/海の日^②の服装

- * 服装は、乾きやすく（化繊である）、手首から足首まで隠せることが重要です。肌を露出させないことで、擦り傷や切り傷、アブへの対策になります。綿の長袖長ズボン（トレーナーやジーンズ等）は、水を吸収するため動きにくく、体温低下のリスクも高くなります。

- ＊ 足元はウォーターシューズを着用します。ベルト等で踵まで固定できるサンダルは脱げにくいですが、つま先が守れません。ビーチサンダルやクロックス、長靴は流されるため、避けてください。
- ＊ PFD（Personal Flotation Device, ライフジャケット）を着用します。人数把握するために、園で準備した白色の水泳帽を着用してもらうことがあります。

中止判断について

○朝7時に警報が発令されている場合 → 中止（通常の準備でも、森の日の準備での登園でも構いません）

○朝7時に警報は発令されていないが注意報が発令されている場合 → 判断は、当日朝行きます。（必ず、森の日の準備で登園ください）

※朝7時に警報が発令されているかどうかは、園からコドモン配信は行いませんので、大変お手数ですが、各ご家庭でご確認いただけましたら幸いです。

※注意報が発令されていて当日朝実施判断を行う場合は、当日朝8:30-9:30ごろまでに実施するかどうかをコドモン配信いたします。

※中止の場合でも、森の日の準備のまま登園いただいて全く問題ございません。

園バスについて

安全対策についてなどを整理したガイドラインは、コドモンの資料室に格納しています。

園バス費については、p.31をご確認ください。

その他安全対策

動植物分野、自然災害分野、人的要因分野を基本に、種々のリスクに対する予防と事後対応についてマニュアルに整理し、定期的な研修（最小頻度：年一回）とマニュアルの見直し（随時）を行なっています。例えば近年話題になることの多いクマの出没に対しては、以下のように整理し、対策しています。

予防：出没箇所等に関して市から情報収集し、行先を検討する（最重要）。クマ鈴を携行する。フンや足跡などのフィールドサインを観察する。音を立てながら活動する。活動前にクマよけ花火を打ち上げる。万一の際の対応を子どもたちとも共有する等

対策：クマスプレーを携行する。出会った時の対応方法を研修にて練習する等。

安全衛生 | 健康管理について

3才くらいまでの子どもは、体の不調や不快を言葉でうまく伝えることができないものです。
子どもを観察する習慣を持ち、よくある不調の初期症状には、家庭でのケアも試してください。
毎日の優しいまなざしが、からだ全体の育ちに繋がり、こころの成長にも関わります。

また、保育園は集団で生活する場所です。
感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日を快適に生活できることが大切です。
以下、大人が配慮すべき大切な確認事項をまとめました。
保護者の皆様と共に、子どもたちの健やかな心と体を育んでいきたいと思います。

登園にあたって

発病は、軽い病気の場合でも、念のため、保育園にもお知らせ下さい。
また、予防接種後の登園は、控えていただいています。これは接種後に園内で症状が出たり、副反応が出たりすることがあるからです。
特別な病気、体質（アレルギーなど）配慮が必要な場合は、ご相談ください。
ご家族の中に感染症に罹患している方がいる時はお知らせください。

登園の目安

次の場合は、登園を控えてください	
①熱について	＊ 朝から37.5度以上の発熱がある ＊ 24 時間以内に 38℃以上の熱が出た場合や、又は解熱剤を使用している場合 ＊ 食欲がない元気がない、いつもと様子が違う
②咳について	＊ 前日の夜、ひどい咳でよく眠れなかった ＊ 少し動いただけで、咳がひどくなる ＊ 咳があり、食欲がない、元気がない、いつもと様子が違う
③下痢について	＊ 前日水のような便が2回以上出ている場合で、食べたり飲んだりすると下痢が出る ＊ 排尿がない、食欲がない、元気がない、いつもと様子が違う
④嘔吐について	＊ 前日1回でも嘔吐があった場合で、食べたり飲んだりすると吐き気がある ＊ 排尿がない、食欲がない、元気がない、いつもと様子が違う。気持ち悪そう
⑤発疹について	＊ 発熱がともなう発疹が出ている ＊ かゆみが強く、継続して気になっている ＊ 発疹やかゆみがあり、元気がない、いつもと様子が違う

安全衛生 | 感染症から回復後の登園について

診断された感染症（A）・（B）・（C）の①「感染しやすい期間」を経過していること、②「登園のめやす」が満たされていることを確認し、登園時に必要な書類をお持ちください。

なお、下記（A）の指定感染症が園児に確認された場合は、即日全家庭に園内感染状況を配信しています。また、下記（B）の指定感染症拡大（2人以上同じ診断など）が認められる場合や、体調不良者が明らかに増加傾向にある場合にも、全家庭に園内感染状況を配信しています。

（A）医師に記入してもらった「登園許可意見書」が必要な感染症

※「登園許可意見書」書式は、コドモンアプリ > その他 > 資料室 よりダウンロード出来ます。

病名	① 感染しやすい期間	② 登園のめやす
麻疹	発症1日間～発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
風疹	発疹出現前7日～後7日間くらい	全ての発疹が消失するまで
水痘（水ぼうそう）	発疹出現1-2日前から痂皮形成まで	全ての発疹がかさぶたになるまで
流行性耳下腺炎 （おたふく風邪）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	腫れが出てから5日を経過し、全身状態が良くなるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
結核		感染の恐れがなくなるまで
流行性角結膜炎	充血・目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いので、結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで
腸管出血性 大腸菌感染症	便に排菌がある期間	症状が治まり、抗菌薬治療終了後、検便を48時間あけて連続2回行い、いずれも菌陰性を確認してから
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1-2週間 便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認められるまで

(B) 保護者が記入する「登園届」が必要な感染症

※「登園届」書式は、コードモンアプリ > その他 > 資料室 よりダウンロード出来ます。

※インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は、所定の書式があります。

病名	① 感染しやすい期間	② 登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24-48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌治療を開始する前と開始後数日	発熱や激しい咳が治っていること
手足口病	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事が摂れること
伝染性紅斑（りんご病）	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ・ロタ・アデノウイルスなど）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間はウイルスを排出しているので注意が必要）	嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事が摂れること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1ヶ月程度ウイルスを排出しているので注意）	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく普段の食事が摂れること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水泡を形成している間	全ての発疹が痂皮化してから
インフルエンザ	症状がある期間（発症前24時間から、発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過するまで
COVID-19（新型コロナウイルス）	発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること

(C) 届出は不要ですが、目安を守ってください

※下記以外の症状がでた場合は、園にご相談ください。

病名	① 感染しやすい期間	② 登園のめやす
伝染性膿痂疹（とびひ）	患部がぐじゅぐじゅしている間	患部が露出していない
伝染性軟属腫（水いぼ）	いぼから浸出液が出ている間	いぼの浸出液を覆っている
アタマジラミ	シラミが付着している間	駆除対策を開始し、継続していること。駆除の徹底までは、帽子着用をお願いします。

安全衛生 | その他

園で発病した場合・与薬について

発病した場合	園で、37.5度以上熱が出た場合や、下痢など体調が悪い場合は、保護者の方へ連絡します。 なるべく早いお迎えをお願いします。
怪我をした場合	保育園で適切な処置を行い、受診が必要と判断した場合には、病院へ行きます。 その場合、すぐに保護者の方に連絡をします。ので、可能な限り病院に付き添っていただき、治療方針に同意していただきたいと思います。 やむを得ず付き添えない場合は、保育園の看護師または保育士が付き添い受診します。
痙攣が起きた場合	基本的に、以下の場合には119番通報にて対応します。 ＊ 5分以上痙攣が継続する場合 ＊ 意識がない場合 ＊ 正常な呼吸をしていない、または皮膚が薄紫色（チアノーゼ症状）がみられる場合 お子さんに痙攣の既往歴がある場合は必ず園にご連絡ください。 ダイアアップ等の預かりも可能です。
与薬について	＊ 医療機関を受診されるときは、保育園通園中の旨を伝え、 1日2回（朝夕）の薬にしておもらして下さい。 なるべく家庭で服用できるようご協力をお願いします。 ＊ 園での投薬は、処方箋のある薬だけに限ります。（初回、処方箋を必ずお持ちください） ＊ 保育時間内に投薬が必要な場合は、 1回分の薬 をお預かりします（シロップも別容器に入れるなどして、必ず1回分を渡して下さい）。 ＊ 薬（容器）に日にちと名前を記入して下さい。 ＊ 登園時に与薬票に記入の上、薬と一緒に薬剤情報（お薬の説明書）を職員に手渡しして下さい。 与薬票はコードモン資料室からダウンロードできます。 ＊ ダイアアップやエビペンなど、園で長期間預かるものに関しては、与薬書と承諾書が一体になった書類があります。 ＊ 薬は二人以上でダブルチェックをし、看護師又は保育者が投薬します。お子さんが自分で服用することがないように、保護者の方が責任を持って管理して下さい。 ＊ 塗り薬も含まれます。
保険証について	保険証・乳児医療証のコピーを提出してください。 ケガなどで、保育園から直接病院に行く時に必要となります。 ※内容に変更があった場合は更新と再提出を忘れないようにお願いします。
健診・検査について	＊ 身体測定（身長・体重）は毎月測定し、コードモンで成長記録が閲覧できます。 ＊ 健康診断は春と秋に年2回行います。嘱託医の小野俊孝医師が行います。 ＊ 歯科検診は年に1回、嘱託医の澤田正佐子歯科医師（澤田歯科医院）が行います。

個人情報の取り扱いについて

- ＊ アレルギーや既往歴など、園児の健康に関する情報については厳重に管理した上で、基本的には園内のスタッフで共有して全園児の安全確保に努めます。
- ＊ また、他個人情報の取り扱いについても、別途定める「やまのこ保育園/やまのこ保育園homeプライバシーポリシー（個人情報保護方針）」に準じます。

食 | やまのこごはん（給食）についての考え方

わたしたちの身体は、日々食べるものでできています。健康の基盤と味覚の形成期である乳幼児期の子どもたちにとって、どのようなものをどのように食べるかは非常に重要なテーマです。

- ＊ 薄味の和食を基本とします
- ＊ 日本の気候・風土によくあった和食、出汁を丁寧にとった薄味を基本とし、味覚の基礎を育みます
- ＊ 「ま（豆類）ご（ごま）は（わかめなど海藻類）や（野菜）さ（魚）し（しいたけ）い（いも）」を大切に献立を構成します
- ＊ 日常的な畑仕事や野菜の下ごしらえを通して、食を通した自然の循環を学びます
- ＊ 1・2歳児クラスからは、配膳も子どもたち自身で楽しみながら行います
- ＊ 陶器や漆器などの器、お櫃などの伝統的な生活道具を用います
- ＊ アレルギー体質で特定の食品を抜く必要がある場合、医師の指示書に従い、個別にご相談に応じます

安全な食材・地元の食材を選びます

お米は庄内産の有機栽培のお米を、年齢によって、白米、三分づき米、玄米で食します。

野菜・肉・魚はできる限り庄内産のものを用います。

有機栽培、特別栽培、自然農法の地元の農家さんのお野菜を約7割程度使用しています。

調味料は、原料や工程にも目を配り選定します。

使用する調味料と製造地について

みりん：白扇酒造 福来純伝統製法熟成本みりん（岐阜県）

醤油：山形新庄大豆畑トラスト（山形県）

酢：飯尾醸造 純米富士酢（京都府）

味噌：やまのこ味噌（園で作った手前味噌）

油：つの食品 圧搾一番搾り国産こめ油（和歌山）

料理酒：澤田酒造株式会社 自然酒（奈良）

やまのこごはんの週刊献立表

開園当初は献立表は月刊でしたが、子どもたちが旬を味わい、土地とつながることができるようにと願い、旬を確かに反映した献立にするために週刊に切り替えました。調理メンバーが、農家さんややまのこの畑でその時期に採れた野菜を前に毎週メニューを考えます。また、保育における子どもたちの食の営みや、出汁の取り方など、保護者の皆さんと共有したい食の話題も掲載しています。

食 | 「やまのこ」の離乳食について

やまのこでは、こども自身が手づかみで食べることで、食べたいと思う意欲が育つことを大切にしています。

手づかみすることで、匂い、温度、色、触感、音など五感が刺激されます。

お皿に乗った食材から、自ら選んで食べるため、食への意欲や興味が高まります。また、食材を自分で口元に運ぶ時、食材や手が口の周りに当たることで口周りの感覚が刺激され、自分の体の感覚を知る機会となります。

離乳食開始は食べることへの探求の第一歩と捉えています。こどもが食べ物に興味を示すまでは母乳やミルクを主として考え、ゆっくり進めていくことを大切にしています（母乳パック/冷凍母乳に対応します）。

やまのこの離乳食の特徴

- ・離乳食を、ピューレ状の食べ物ではなく、子どもが自分で掴むことのできる固形食から始めています。
- ・野菜を子どもがつぶせる硬さにやわらかく煮こみ、掴みやすい形のもの（太いスティック状）から始めます。

徐々に新しい形や食感のものを取り入れることによって、こども自身がどうやってそれを扱うのか探求し、学んでいきます。

＊シンプルな味つけを基本に、日本の気候と風土とによく合った食事で、味覚の基礎を育みます。

＊タンパク質は消化吸収が優しい植物性のものから摂取します。

＊アレルギーとなる食材は、できるだけ完了期になってから使用します。

（アレルギー体質で特定の食品を抜くことがある場合、医師の診断書に従い、個別にご相談に応じます。）

離乳食期別の考え方

（期間は目安です。それぞれの子どもの様子を見ながら進めていきます。）

初期 (5~7ヶ月)	大人が食事を大切にしているのを見て、少しずつ自分も食べたいと思うようになる時期です。 離乳食の開始は食べることへの探求の第一歩と捉えています。 栄養摂取は母乳/ミルクがメインの時期で、「食べる」よりも「食に出会う」ことを大切にします。 柔らかいおかゆから始め、こどもの消化の様子を見ていきます。 ひとつひとつの食材の味や食感の違いを感じられるよう、ゆっくりと進めていきます。
中期 (8~11ヶ月)	こどもの便の状態、健康状態を確かめながら、食材チェック表をもとに、食品の種類を増やしていきます。歯茎でつぶせる硬さのものが目安です。だしの入ったお汁に、野菜と豆腐を加えています。 こどもが目の前のものに手を伸ばし、口に入れたがるようになったら、手づかみ食べを見守ります。
後期 (12~15ヶ月)	歯も生えて、ものを嚙んで飲み込むことができるようになる時期です。 おかゆの硬さも調節していきます。 旬の野菜を中心にバランスを考えて調理していきます。 味つけは塩やみそ、だしを使い薄味に調理します。
完了期 (15ヶ月~)	昆布やかつおぶしの旨味を生かすことによって、減塩に努め、野菜や果物の甘みを引き出した和食を基本とします。 副菜を加えるなど、幼児食へ移行していきます。

ご家庭での様子を伺いながら、一人ひとりのお子さんに合った食事提供を進めていきますので、ご不明な点などありましたら、いつでもお声がけください。

家 庭とのつながり | 保護者⇄園の公式連絡ツール「コドモン」

園からのお知らせメール配信や、登降園時の打刻、保育料徴収、写真販売などを一括管理する保育園ICTシステム「コドモン」を導入しています。

【入園時】アプリのダウンロード、マイページへのログイン、口座振替登録

1. お持ちのスマートフォンにコドモンアプリのダウンロードをお願いします。
2. 別途配布「保護者様向けマイページサービスのお知らせ」に記載のIDとパスワードで、マイページへログインしてください
3. コドモンアプリ>その他>振替口座登録より、保育料の引落口座をご登録ください。
 - * 詳しくは、別途配布の「保護者マイページからの口座登録方法」をご参照ください。
 - * パスワードはマイページより自由にご変更ください（パスワードは各自での管理をお願いいたします）
 - * やまのこ保育園homeからやまのこ保育園への移行時には、再登録が必要になります

【毎日の登降園時】QRコードで登降園打刻をおこなってください

毎日の送迎時にコドモンアプリに表示されるQRカードをエントランスのiPadにかざし、打刻をお願いします。

- * 延長保育料なども打刻から自動計算されます。
- * 打刻漏れに気がついたら、コドモンよりご連絡ください。
- * 登降園のいずれかが打刻が確認できない日については、園より登園実績を確認いたします。連絡を受けたら、コドモンアプリ>連絡>その他、から登降園時刻や欠席の旨をご連絡ください。

【家庭⇄園への連絡】欠席/遅刻/迎え時間変更などはコドモンからご連絡ください

365日、24時間連絡が可能です。欠席や体調の変化など、園への連絡事項がある際にはコドモンアプリからご連絡ください。園側が確認しましたら、アプリのステータス表示が「確認中」から「確認済」になります。

【園⇄家庭への連絡】お知らせ配信、アンケート配信など

日常的にイベントのお知らせや、園内感染状況、園で起きていることや、持ち物の案内など、必要なタイミングで都度一斉配信しています。イベントへの出欠確認など回答が必要なアンケート配信もありますので、まめな確認をお願いします。

写真アルバム公開・写真販売

コドモンアプリで定期的な写真アルバム公開と写真販売を行っています。園での子どもたちの様子をぜひご覧ください。

- * 写真販売の売り上げは、定期的なカメラのメンテナンスや子どもたちの活動のために使わせていただいております。
- * 販売スケジュール：毎月15日に前月分アルバム公開 → 翌月末購入〆切です

年間カレンダーと資料室（与薬票、変更届などの書式ダウンロード）

- * 休園日や年間予定をコドモンアプリ>「カレンダー」に反映していますのでご確認ください。
- * コドモンアプリ「資料室」には、与薬票・登園届・変更届・就労証明など、必要な書式がありますので、必要時にはダウンロードしてお使いください。

家庭とのつながり | 保護者運営のコミュニケーションツール「Slack」

園から保護者へどうしても一方通行になりがちなコミュニケーションですが、やまのこという場が、子どもたちの成長をともに見守り、大人にとっても様々な学びや経験、出会いを得られる場として、より良いコミュニケーションが生まれるきっかけになればと願い、保護者の自主運営を基本に、Slackを使ったコミュニケーションが行われています。

投稿を眺めるだけでも構いません。入園時にはぜひ登録してみてください。

Slackとは

LINEなどのようなコミュニケーションツールです。検索や話題ごとにチャンネルを設定できる機能や、豊富な絵文字で返信機能などがあり、より気軽に情報共有ができるツールです。

やまのこペアレンツSlackの目的

- ・やまのこ保育園に関わる大人同士のコミュニケーションの促進を図る
- ・保護者も保育者も、相互の情報交換ができるような、ゆるくフラットな関係を作る
- ・保護者間で情報共有することで、助け合いやお互い様精神で子育てができるよう、やまのこコミュニティを耕していく

いいところ

- ・保育園での初めての経験や質問など、経験や知識を共有するツールになる
- ・園外の子育てに関わる情報（イベント・おすすめの遊び場や病院など）が共有できる
- ・プロフィール欄を利用して、お子さんの名前と親御さんが一致できる自己紹介ツールになる
- ・連絡先を知らないご家庭でも、子どもが休日などに「〇〇ちゃんと遊びたい！」となったときの連絡ツールになる
- ・「今週末〇〇いきますがよかったら一緒に遊びませんか？」とゆるく投げかけられる
- ・普段お迎えなどが難しい保護者の方でも、子どもたちの日常を共有できる

参加方法

Slackアプリのダウンロードの後、下記QRコードからYamanoko Slackに参加いただけます。

※ PCからのアクセスは... yamanoko.slack.com

新規参加はこちらから



Slackアプリダウンロードはこちらから



ログイン後、パートナーの方などに招待リンクを送ることが可能です。

家庭とのつながり | つながり隊について

2019年のペアレンティングクラスで、「園と保護者の新たなつながり方」が提案され、各クラスに「つながり隊」と呼ばれるコミュニケーション兼企画委員が誕生しました。今ここで起きていることを保護者の方と深く対話しながら場をつくっていくことで、子どもだけではなく保護者にとっても「自分たちの場所」と感じられるように育てていけたらと思います。また、卒園後も長く繋がっている横の関係性を育み、やまのこのコミュニティが醸成されていくことを願います。

つながり隊とは

- ＊ 保護者同士の、保護者と園のコミュニケーションを活性化していく役割を担う方です。転園時はバトンをつなぎます。
- ＊ 保護者が主導するアクティビティ（園庭開放/年長児の山登りなど）の呼びかけを通して、保護者同士の横のつながりをつくりまします。ペアレンティングクラスや学びの企画などを、園と共同企画することもあります。

つながり隊は毎年変わります（各学年1名程度目安）



（園庭開放）*2022-2023年度実施：来年度以降、アップデートの形を検討中です。

2022年、子どもたちがどう遊んでいるかや、畑などの植栽について知りたい！という保護者の声と、園も共有できたらという想いが重なり、つながり隊主導の園庭開放が始まりました。休日にご家族で園庭で自由に遊ぶことができます。

日程：第2、第4 日曜日 10:00-15:00（出入り自由）

対象：やまのこ両園の在園児、退園児、卒園児とその家族

保護者同士の横のつながりや、homeとやまのこの両園の家庭の出会いが生まれるきっかけに。園庭の愛称は「小さな地球」。ウッドデッキや、ガーデンベッド(花壇)、コンポストは、保護者の方々と一緒に作ってきたものです。この「みんなで作ってきた小さな地球=やまのこ」をフィールドに、遊んだり、お弁当食べたり、お茶したり、植物の水やり草むしりなど、ここでの時間をたっぷりと楽しめたらと願います。

入退場管理：最初の人と最後の人が、入退場の時間を「入退場記入シート」に記録します。シートはメッシュケースに入れてやまのこ保育園のガラスドアにつるしてあります。

保育園出入口の施錠：①最初の方は門扉の下鍵が降りているので、上げる&ノートに時間を記録してください。②利用中は門扉の内鍵を必ずかけてください。③最後の方はノートに時間を記録&門扉の下鍵を下ろしてください。

開放するエリア：やまのこ保育園の園庭に限ります。室内へは入室できません（外トイレと手洗い場が使えます）。

飲食：東家でお弁当を食べたり、おやつを食べたりできます。野菜や果物の種や皮(非加熱)はコンポストへ（食べ残しやお菓子などはコンポストに入れないでください）。その他ご家庭のゴミは必ず持ち帰りをお願いします。食べ頃の植物があればぜひ収穫して楽しんでください！

火の扱い：事前に消防への連絡が必要なため使用しないでください(予め企画し、園から消防への連絡が可能な場合には対応可)

その他：子どもたちの着替えや水筒があるとたっぷり遊べます。遊びへの参加や怪我、写真など全てのことは、保護者・ご家庭の自己責任でお願いします。片付けなど、子どもたちが自分で元の場所へ戻せるようお声がけをお願いします。

家庭とのつながり | 保護者がやまのこと出会い、つながる機会

お子さんだけでなく、保護者の皆さんもやまのこ保育園の一員と考えています。保護者の皆さんにもやまのこでの時間を楽しんでいただけたら嬉しいです。年間予定は別途配布いたします。

ペアレンティング・クラス (年2、3回)	保育園の運営や方向性を保護者の皆さんと共有していく機会です。子どもたちを育むパートナーである保護者の皆さんと意見交換をすることで、子どもへの理解を深め、園をより豊かな場にしていく創造の機会したいと思います。またゲストを招聘するなど、テーマに沿った保護者の学びの機会もつくっていきます。 ペアレンティングクラスは「保護者の登園日」です。全員家庭集合をお願いします！
保育参加 ※入園や移行から2年以内に1回以上	保育に入ることで、子どもたちの様子や保育者の動きを知ったり、子ども観を共有することもできます。在園期間を通じて参加いただくと、子どもの年齢の変化に合わせて、子どもを見る視点も変わっていくことを体感していただけます。お子さんと一緒に登園し、午前中半日、保育に参加いただきます。昼食はやまのこご飯を食べ、その後保育者との振り返りにも参加いただけます。 入園/転園（home→yamanoko）から3ヶ月頃等にお声がけさせていただくこともありますが、いつでもご参加ください。なお参加状況によっては回数の制限をする可能性があります。現時点では何度でもご参加いただけます。 ＊ コロナやインフルエンザ等の感染症対策により、参加を一時的に見合わせる可能性があります ＊ やまのこごはんは1食300円となります（翌月保育料と一緒に徴収） 申込について：希望参加日の3週間前までに、コドモンにて (1) 第1～第3候補日、(2) 参加する保護者名、(3) 保育参加後は、お子さんは一緒に降園 or 通常の迎え時間まで保育希望をご連絡ください。
お誕生日会	子どもにとっても家族にとっても、お誕生日は特別な日です。やまのこでは、一人ひとりのお誕生日当日を祝うことを基本にします。大切な機会に子どもたちの園での様子を身近に感じていただけるように、保育参加と合わせての参加もお勧めしています。 ＊ 誕生日当日の日程調整をお願いいたします。保育参加と合わせた誕生日会参加の場合は9:00-13:30頃目安、誕生日会のみ参加の場合は15:00-16:00頃 （もしくは通常お迎え時間の前後）目安です。 ＊ お子さんの誕生日が休日にかかる場合は、別途日程の調整をさせていただきます。 ＊ 誕生日会（夕方）のみの参加の場合は、誕生日会後にお子さんと一緒に降園いただくことをご検討ください。 ＊ お誕生日会は可能な限り保護者の方2名でご同席ください。 ＊ 時間については、各ご家庭とご相談させていただきます。
個人面談	保育者と保護者でお話し、ご家庭でのお子さんの様子や園での様子を共有し意見交換する機会です。入園に際しては、入園前と通常保育開始後1ヶ月頃にお声がけします。 入園後は、home在園児は個別に年2回程度、3-5歳児は希望者のみ年1回（冬）行います。 ＊ 期間に関係なく必要に応じて実施する場合があります。また、話したいことがある時には、保護者の方からいつでもお声がけください。
お餅つき・味噌作り・感謝祭など季節のイベント、HATAKEやhomeびよりなど暮らしの中で集まる機会	毎年12月にはお正月に向けたお餅つき、2月には2つの園で食べる1年分の味噌を子どもたちと仕込んだり、秋には収穫を喜び感謝祭など、保護者の皆さんと楽しむ季節のイベントがあります。 日程は別途配布の年間スケジュールをご確認いただき、ご都合がございましたらご参加ください。 また他にも、子どもたちの遊びから広がるイベントやHATAKEなど、スケジュール外で生じるイベントもあります。 ＊ 土曜保育としてイベントを実施することもあります。なお、保護者の方につきましては、基本的には自己責任にて土曜のイベントにご参加いただいています。
絵本の貸し出しについて	やまのこの絵本を、ご家庭でもお楽しみいただくことができます。 [貸出しのルール] ＊ 各園ごとに一度に一家庭2冊まで、期限は翌々日です。（週末の場合は月曜まで） ＊ 貸出しノートがあります。借りた日、タイトル、子どもの名前、返却時にその日付を保護者にご記入ください。 ＊ 大切にお使いください。破れた場合には、修繕したいので、必ず保育者に声をかけてお知らせください。 ＊ 読めないほどの破損、紛失の場合は同じものを購入していただけるようお願いいたします。

家庭とのつながり | 「やまのこ」からの発信について

やまのこ保育園homeでは、コドモン上で日々の様子を配信しています。また、やまのこ保育園でも週1回を基本にしたコドモン配信に加え、エントランスの掲示やSlack上で日々の様子の共有をすることがあります。

これらに加え、ある程度まとまった期間を経て保育者が観察したことや、考えたことを発信するために、隔月を目安に「やまのこジャーナル -LITTLE PLANET-」を作成し、保護者共有しています。

わたしたちは、日中に子どもたちと暮らすことを職業とする保育者の視点と、子どもたちと暮らすことが日常である保護者の視点の、交わりの先に生まれてくる光景に関心があります。

「やまのこジャーナル」をお読みいただいた際には、ぜひご感想・ご意見をお寄せください。

「やまのこジャーナル」の記事はやまのこ保育園website (yamanoko.org/planet/) でもご覧いただけます。

また、FacebookやInstagramも適宜更新しています。ご活用ください。

服

装 | 毎日の衣服について

身体機能の観点から

子どもは、大人の3-4倍の汗をかき、その上、肌は柔らかく敏感です。特に子どもの肌は露出した脳であると言われるほど、心身の発達に影響を及ぼす重要な機能を担っています。肌着の硬さによって免疫機能に変化が生じるという実験結果もありますので、可能な限り、柔らかい綿の衣服を選んでいただきたいです。また、3歳までに汗腺の量が決まるため、夏はたくさん汗を出すことが重要で、冬は厚着をせず体温調節機能を働かせることで、大人になってからの免疫系を支える身体の基盤をつくります。できるだけ薄着を心がけていきたいと思います。

自立の観点から

「一人でやりたい!」という時期にいる子どもは、服を着る、脱ぐ、たたむといった動作に懸命に取り組みます。「自分でできた!」という経験をたくさん味わってほしいと願っているため、大人の手を借りなければ着脱が難しい衣服は避けたいと考えています。お子さんの成長に合わせて、徐々に自分で着脱ができるよう援助していきたいと思っています。

ご遠慮いただきたい衣服

- ＊ **子どもが一人で着脱することが難しい服**（オーバーオール・Gパン・スパッツ・前びらきのボタンやファスナーがついているもの、裾にゴムがはいっているズボンなど）
- ＊ ロンパース（布パンツが濡れた時にズボンのみが着替えられるよう、乳児も上下分かれている服を基本にします）
- ＊ **野外活動に適さない服・事故を招きやすい服**（ワンピース、スカート、フード付き・紐が付いている服など）
- ＊ ヒラヒラと細く長く起毛した服（引火の危険性があります）
- ＊ キャラクターが描かれている服（目の前の活動や遊びに深く集中し、より広く展開できるよう、子どもたちの注意を引くキャラクターの服は推奨しておりません。**ただし状況に応じますので、悩むことがあればぜひお気軽にご相談ください。**）
- ＊ **香料入りの洗剤や柔軟剤を使用した匂いが強く残る服**（柔軟剤による目眩・吐き気等の体調不良の発症を避けるため）

おすすめの衣服

泥遊びや絵の具遊び、焚き火をします。動きやすく、脱ぎ着しやすく、土や絵や煙の匂いがついても良い服で登園して下さい

肌着・Tシャツ・長袖	やわらかい綿素材・通気性の良いもの ※化学繊維の衣服は焚火等により穴が開きやすいです。
ズボン	ウエストがゴムで履きやすく、やわらかい素材のもの
靴、長靴、スノーブーツ、ウォータースシューズ	子どもが自分で履きやすい靴、ちょうど良いサイズのもの 夏の水遊びはウォータースシューズがおすすめです。 ※歩くと音のなる靴や、光る靴、夏のクロックス・サンダルは避けてください。
通園カバン	2-5歳児はアウトドアメーカーのリュックをご準備ください（p.27参照）。2歳未満は何でもOKです。
夏の帽子	入園の際にご購入いただく、やまのこ保育園オリジナル帽子をご使用ください。
冬の帽子	耳が隠れるニット帽やフリースの帽子など、機能性を重視して選んでください。頭にフィットせず、すぐに脱げてしまうものは、風に飛ばされて危険です。アウトドアブランドのものを推奨します。
ベスト	腕は動きやすく、胸まわりや腰を部分的に温めてくれます。
手袋	自分で着脱可能な防水性のあるもの。（0-2歳児はミトンタイプが自分で着脱しやすいです。）

服装 | 布パンツについて

0歳児から布パンツで過ごします。排泄自立までは園所有の「エコニコパンツ」という布パンツを使用し、排泄自立後は自身の布パンツをお持ちいただきます。

第二の脳と言われる子どもの肌への心地よさと、自分で着脱しやすく動きやすい子ども目線での機能性、そして使用済み紙おむつの廃棄が環境に及ぼす影響負荷の点や、子どもの五感の基礎となる快/不快の点から、布パンツを採用しています。

排泄は、子どもにとって自分の身体との間で交わされる、重要なコミュニケーションのひとつです。自分の身体から出るものを感じること、お尻が濡れるという不快感を得ることは、情動をつかさどる脳の辺縁系の発達に影響を及ぼします。乳幼児期に、快と不快をたっぷり感じることで、五感を育む基礎になるのです。（ご家庭では紙おむつを使用いただいて構いません）

エコニコパンツについて

綿100%なので肌触りがよく、自分で着脱がしやすく、動きやすいことを重視して開発された布パンツです。

入園後、ゆっくり保育（慣らし保育）が終わった頃から、紙おむつからエコニコパンツに切り替え、排泄自立が90%程度に達したらご家庭で準備いただく布パンツへと切り替えます。

吸水機能はあまりなく、排尿の度にズボンも着替えますので、0歳児は1日8着程度のズボンが必要になります。

エコニコパンツの洗濯方法

園で洗濯・消毒を行います。エコニコパンツ専用の洗濯機で電解次亜水（※1）を使って洗浄し、ガス乾燥機で乾燥させます。

（※1）電解次亜水：食塩水を無隔膜方式で電気分解することによって得られる次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする弱アルカリ性の水溶液で、食材の殺菌や調理器具などの除菌、施設内の環境衛生（ドアノブ、手すり、便座等の除菌）に使用します。

※100～200ppmの電解次亜水は厚生労働省通知「大量調理施設衛生管理マニュアル」に準じた使用をしております。

登降園の際のエコニコパンツ着用について

登降園時にも、できるだけエコニコパンツを履いて登園してください。車の乗り降りや外出など、もれたら困る時のために、防水機能がついたオーバーパンツを重ね着したり、紙おむつの着用も、ご準備いただければ必要に応じて対応します。

個人持ちを希望される方へのご案内

家庭で、エコニコパンツを使われる方に、販売店のご案内です。

子どもの道具や <http://www.kodomonodouguya.com/> （092-407-4271）

年齢にもよりますが、必要数はおおよそ15枚です。1枚 900円（税込）

服装 | 園所有のレインウェア・長靴・ライフジャケット

子どもたちの野外での遊びや活動を保障するために、機能性の高いアウトドアブランドTHE NORTH FACEのレインウェア・長靴・ライフジャケットを園所有で用意しています。

（当園を運営するSpiber株式会社は、2015年よりGOLDWIN社との事業提携によりスポーツ・アウトドア分野における共同開発を進めており、園の開園当初からやまのこの理念や取組みにご賛同いただき、帽子やリュックへのやまのこロゴ刺繍や、レインウェアや長靴の寄贈、特別価格でのキッズ商品のご提供など、多くのご協力をいただいています）

レインウェア

ふき組・わらび組（0-2歳児）

園所有のレインウェアを使用します。

ワンサイズのため、園でメンテナンスしますので持ち帰りません。



yamanoko（2-5歳児）

園所有の100-130cm の適するサイズのレインウェアを使用します。

基本的に持ち帰りません。

- ＊ 洗濯について：特に汚れた場合にのみ、持ち帰りをお願いします。撥水加工を落とすために、汚れ箇所のみ手洗いいただき、洗濯機の使用は避けてください
- ＊ 持ち帰り中の紛失：THE NORTH FACEさんのお気持ちをこれから入園する子どもたちへ継いでいけるよう、リペアしながら長く大切に使用したいと考えていますので、紛失や十分ご注意ください。万が一紛失してしまった場合は、代用をお渡しすることになるので、ご家庭でアウトドアメーカーのレインウェアをご準備ください。
- ＊ 森の日においては、個人識別性向上のために、ご家庭からレインウェアをお持ち頂



さないた
ちにも受
失のない
ができま
きます。

長靴

- ＊ GOLDWIN社より寄贈いただいた園所有の長靴は、避難靴として使用します。
- ＊ 日常活動用の長靴は各ご家庭でご準備いただきます。

ライフジャケット

川や海での活動における安全対策として、必ず園所有のライフジャケットを着用して活動します。

服装 | やまのこオリジナル帽子・通園リュックのご案内

やまのこオリジナル帽子

入園時に、アウトドアブランドTHE NORTH FACEの「ホライズンハット」に園のロゴマークが入ったオリジナル帽子をご購入いただきます。
屋外に出ることが多いため、機能性の高い帽子を購入いただくことでお子さんがより安全に活動することができます。またお揃いの帽子にすることで人数確認にも役立ちます。



・価格：3,200円（税込、定価の40%オフ。購入翌月の保育料と共に引落し）

・サイズ：KS(47-49cm)、KM(50-53cm)、KL(54-56cm)

※安全性を高めるため、お子さんの頭のサイズに合ったものをご購入ください。

・購入方法：入園時面談でサイズをお知らせいただき、入園日にお渡しします

※サイズアウト、紛失などの際は、在庫を確認しますので、スタッフにお声がけください。

・ワッペン・リボン・刺繍（※缶バッチ不可）など、こども自身で分かるマークをつけてください。

通園カバン（推奨）

アウトドアメーカーTHE NORTH FACEのリュックを、当園推奨の通園カバンとしてご案内しています。肩の部分に園のロゴマークが入ったもので、毎年受注販売にて通常価格の40%オフでご購入いただけます。

特に、野外活動が増える3歳児以上は、アウトドアメーカーのリュックのご準備をお願いしています。

スモールデイ（15ℓ）

2-5歳児の野外活動にオススメです

価格：5,610円（税込、定価の40%オフ）



ホームスライス（8ℓ）

1-2歳児のはじめてのリュックにオススメです

価格：4,290円（税込、定価の40%オフ）



レクタング（17ℓ）

3-5歳児の野外活動にオススメです

価格：6,270円（税込、定価の40%オフ）



持ち物 | 毎日の持ってくるもの・保育園で預かるもの

全ての持ち物に、必ず記名をお願いします。通園カバンの中は、毎日チェックをお願いします。

- ・着替え用衣服は、汚れて持ち帰ったものをチェックいただき、補充してください。
- ・基本的に、衣類など園から持参をお願いするものをのぞき、玩具や食べ物を含む私物の持ち込みはご遠慮ください。

想定されていない物が持ち込まれることで子どもたちが思わぬ怪我をする可能性があり、中でも食べ物の持ち込みは、アレルギーなど重大な事故につながるリスクがあります。

- ・キャラクターものは吸引力が強く、子どもたちの遊びの世界が限定されたり、**所有によるトラブルが生じる**こともあります。
- ・私物（虫かご、絵本、おもちゃ等）を持ち込まれた場合には、紛失・破損が生じることがありますが、園としての責任は負いかねます。

以上を踏まえた上で、子どもの気持ちや状況に応じて、私物の持ち込みを検討される際には、必ず保育者にお声がけください。

毎日持ってくるもの

	0歳 ふき	1-2歳 わらび	2-5歳 yamanoko	備考
通園カバン	●	●	●	P.27参照 ※3-5歳は、アウトドアメーカーのもの
手つきビニール袋	●	●	●	毎日の濡れた洗濯物を入れます。繰り返し使うので、厚手のショップ袋や洗えるエコバッグがおすすめです。
歯ブラシ/コップ/コップ袋			●	使用開始のタイミングでお声がけします。
水筒（※夏場のみ）			●	500ml程度、肩紐あり、コップでなく自分で飲める直飲みかストロータイプ
育児日記	●	●	(●)	3歳ごろまで
食食用 エプロン	3	1		P.30参照
食食用 口拭きタオル	3	1		
口拭きガーゼ	1			ミルクを飲まれる方
オーバーパンツ	1			帰りにエコニコパンツの上に履かせたい場合

保育園で預かるもの

名称	数	備考
着替え用衣服（上下・くつ下）	2-5 (8)	汚れ物として持ち帰った枚数を、翌日補充してください。排泄が自立する前は上下衣服が1日で8着ほど必要です。
長靴	1	外遊び用
帽子	1	P.27参照
お昼寝用シーツ	1	P.30参照（※ふき組のみ2枚）
哺乳瓶	1-2	授乳している方
タオルケット または 毛布	1	気候に合わせてご準備ください。
スノーウェア・スノーブーツ・手袋・帽子	1-2	冬季 P.24参照 ※排泄の自立前は2着ご準備いただくこともあります。 *特に0-1歳児は、入園時の気候や個々人の発達に応じて必要なものが変わります。保育者と相談しながらご準備ください。
家族写真（home入園児のみ）	1	子どもが新しい環境下で安心できるよう、個人ロッカーに家族写真（L版 127mm×89mm）を掲示します。入園日にお持ちください。フレーム不要

園外活動「森/川/海の日」の持ち物

	森	川	海	備考
長袖・長ズボン（着用して登園）	●	●	●	川/海の日にはラッシュガード、レギンス等。
長靴	●			
首に巻く手拭い	●			夏季には薄手のものをご用意ください。
レジャーシート	●	●		1人用のものをご用意ください。
水筒	●	●	●	お茶か水が入った水筒（川・海の時には体温低下を防ぐため氷なし）
ハンカチ・ティッシュ	●	●	●	
ビニール袋（記名）	●	●	●	汚れものを入れたり、森で集めたものを入れます。
着替え1セット	●	●	●	長袖、靴下、パンツ、長ズボンをビニールにいれてください。
軍手または手袋	●			森の中に入っていくときや焚き火のときなどに使います。
食器	●	●	●	ご飯用のお椀、味噌汁用のお椀、箸（スプーンとフォークでもOK）を自分で開閉できる巾着などに入れてください。状況により、昼食なしで帰ってくる日には不要です。
おしぼり	●	●	●	状況により、昼食なしで帰ってくる日には不要です。
レインウェア	●			個人識別性向上のため、森の日には各家庭からレインウェアをお持ちください。
ウォーターシューズ	●	●	●	水遊びをすることがあるため、森では夏季のみお持ちください。
大きめのタオル		●	●	着替えの際に体に巻けるように。

持ち物 | 記名のお願い、製作をお願いするもの

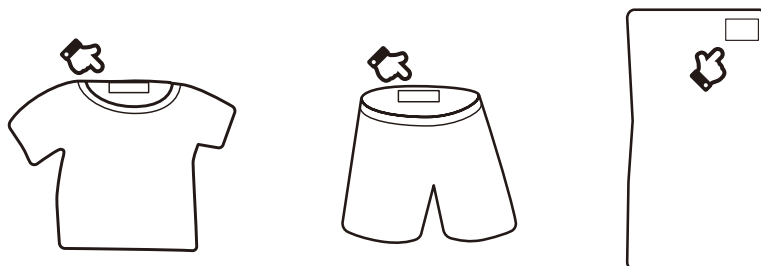
記名のお願い ※使用しているうちに消えたり、見えづらくなってきますので、定期的にチェックしてください。日々の生活を支える物たちです。子どもたちと共に、物を大切に扱う態度を育んでいきたいと思えます。特に小さい人たちは1日に10回くらい着替えをします。1人10枚を10人以上の子どもたちの仕分けをすると仕分けをする衣類もたっぷりです！ご記名のご協力お願いいたします！！（homeでは、お昼のみの時間帯でサポートしてくださっているスタッフが服の仕分けをすることもあります。兄弟姉妹の名前だと認識できないこともありますので、こまめにご確認いただけますと幸いです！）

＊ Tシャツ・上着などは【襟】に、ズボンは【腰（後ろ）】の部分に名前を記載してください。

＊ シーツ・タオルケット・毛布類は、【表面の右上】に記載してください。

＊ 濃い色の衣服の場合は、タグなどに記名してください。

＊ くつ下、パンツなど全ての持ち物に記名してください。



入園時：製作をお願いするもの

お昼寝用シーツ 1-2枚	食食用エプロン（0-2歳児） 1-5枚	ぞうきん 2枚
園で用意するお昼寝マット（幅55cm×高さ125cm 厚さ5cm）に取り付けます。四隅にゴムを付け、名前を大きめに記載してください。おしっこでシーツが濡れた時の予備として、0-1歳児のお子さんは2枚ご準備ください。市販のものでも構いません。	一般的なハンドタオルのサイズがおすすめです。0歳児は1日1-3枚、1-2歳児は1日1枚程度使います。上部に、ゴムを通し、表面に記名してください。	そうじのため園に提供いただきます。記名不要、柄は問いません。綿素材のもので2枚お持ちください。

その他

やまのこhomeに入園のご家庭は、玄関扉の電子錠解除のためのICカードをご準備ください。

homeのエントランスの解錠に必要となります（Feliceカード、Myfrareカード対応）

＊ ひと家庭につき、最大4枚まで登録可能です。送迎時に使用するカードを入園面談時にお持ちください

＊ 希望の方はご購入もいただけます（1枚200円）

利用案内 | 保育料について

月極利用料（4/1時点での年齢区分）	0歳児	1-2歳児	3歳児	4-5歳児
A 基本保育料	① 40,000円 ② 18,550円 ③ 2,900円	① 40,000円 ② 18,500円 ③ 3,000円	4,000円	7,500円
B 食費（3歳児以上のみ）	—	—	7,000円	
C 布パンツ費	3,000円	3,000円	—	—
D 園バス費	—	300円 / 回	600-1,200円／月	
E 延長保育料	300円 / 回（18:30～19:00）			
F 年長児活動積立費（5歳児のみ）	—	—	—	1,000円 （5歳児のみ）
G コドモン振替手数料	96円			

＊ 特別な園外保育活動を実施する際に、別途活動費のお支払いのをお願いをすることがございます。その場合は、事前にお知らせします。

A 基本保育料について

3-5歳児の基本保育料は、保育料無償化による減額を反映した額です。

0-2歳児の基本保育料②③は、0-2歳児保育料軽減対象家庭の軽減を反映した保育料です。詳細は次項、自治体の保育料負担軽減事業を参照下さい。

B 食費について

0-2歳児は基本保育料に含まれます。毎日のご飯とおやつはもちろん、焼き芋、味噌作り、クッキー作りなどの保育における食の活動で使用する食品の費用もこちらに含まれます。

C 布パンツ費について

排泄自立し、9割程度園のトイレで排泄できるようになった翌月から発生しません。エコニコパンツの使用の必要性については、園で判断いたします。月途中16日以降に使用を開始する場合は、翌月からの徴収となります。

D 園バス費について

園バスの車両維持費の一部を利用園児の保護者の皆様にご負担いただき、園バス運用の継続維持できる体制を整えています。具体的には、2歳児から5歳児まで、最大定員児童がいる条件で、年齢別の乗車回数を元に額を算出しました。

＊ 兄弟が同時に園バス徴収対象となっているご家庭は、下のお子さんの利用料が半額となります。

＊ 活動頻度に応じて年度途中で金額変更の可能性があります。金額変更の場合は事前に対象児家庭へ連絡します(例：隔週の場合は600円 / 月)。

＊ 当月の保育料と共に引き落とします。

＊ 荒天やその他の避けられない事情によって月の実施回数が減った場合や、欠席の場合も同料金です。

＊ 単発参加の場合は、定額制ではなく、300円 / 回 × 利用回数で算出し、翌月の保育料と共に引き落とします。

F 年長児活動積立費（5歳児のみ）

年長児に限定した活動に伴い発生する費用を事前に積立てます。年度末に会計報告をいたします。

G コドモン振替手数料

同一園に兄弟児が在籍する場合は1名分のみです。

自治体の保育料負担軽減事業について

0-2歳児保育料負担軽減事業

山形県に住民票のある0-2歳児のご家庭が、0-2歳児クラスのご家庭が保育の必要性があり、市区町村民税が**169,000円未満**の場合、保育料が軽減されます。軽減を受けるためには、お住まいの自治体へ「届出保育施設等利用認定申請書」の提出が必要となりますので、対象の場合は、申請書に必要書類を添えて、園までご提出いただくようお願いします。

申請時期については、自治体から園に告知があり、速やかに保護者にご案内いたします。

＊ 対象家庭の補助額：

- ・ 市区町村民税所得割額97,000円未満（年収約260万円～470万円）：0歳児は37,100円、1-2歳児は37,000円が基本保育料から減額されます（基本保育料③）
- ・ 市区町村民税所得割額97,000円以上、**169,000円未満**（年収470万円～640万円）：0歳児は**18,550円**、1-2歳児は**18,500円**が基本保育料から減額されます（基本保育料②）

＊ 申請手続きの注意点：保育料負担軽減事業は、

1. 父母が就労しており、家庭で保育ができないなど「保育の必要性」が認められる家庭であるとともに、
 2. 父母の令和3年度の市町村民税所得割額の合計が **169,000 円未満**の家庭が対象となります。
- 「保育の必要性」を確認するために、申請書の裏面に記載してある証明書等を添付いただく必要があります。

多子世帯家庭向け負担軽減事業（0-2歳児の兄弟児、及び第3子）

山形県に住民票のある家庭が、兄弟姉妹で同時に入所、または兄弟姉妹が他の届出保育施設等に入所している場合、0-2歳児の2人目に対し、補助金（上限月額12,000円）が給付されます。

なお、お住まいの自治体によっては、第3子は基本保育料及び食費（3歳児以上）が無料となります。

保育料など月極利用料の支払方法

月極利用料は、毎月20日（20日が休日の場合には翌営業日）に「コドモン」経由で引落とされます。

- ＊ 入園月前月末までに、コドモンアプリのマイページより口座振替登録をお願いします（p.22参照）
- ＊ 延長保育料や物品購入費などが発生した場合は、月末締め、翌月の保育料と合わせて引落とされます。
- ＊ 残高不足などで引き落としされなかった場合は、翌月請求日に合算しての引き落としとなります。

家庭都合で長期欠席される場合（休園等）の保育料について

一定期間、ご家庭の事情で都合欠される場合の扱いは、

月初から月末まで丸1ヶ月お休みされる場合、当該月は「休園」となります。

月途中のお休み／ご復帰の場合、当該月は休園扱いにはなりません。

（※例）7/15-9/20までお休みされる場合、8月は「休園」、7月と9月は休園にはなりません。）

【休園に該当する当該月の利用料】

- ・ 基本保育料：満額徴収
- ・ コドモン振替手数料：満額徴収
- ＊その他、布パンツ費、給食費（3-5歳児）、園バス費は発生しません。

【月途中からのお休み／ご復帰／退園の場合の該当月の利用料】

- ・ 基本保育料：満額徴収
- ・ 園バス費：満額徴収
- ・ 給食費（3-5歳児）：日割り単価350円×利用日数
- ・ 布パンツ費：当該月16日以降にお休みに入られた場合、もしくは当該月15日以前にご復帰された場合は満額徴収
- ・ コドモン振替手数料：満額徴収

利用案内 | 送迎時、駐車スペースについて

駐車場やロータリーでの事故について、保育園では責任を負いかねます。事故のないよう注意し、譲り合ってご使用ください

やまのこ保育園 (yamanoko)

※安全対策のため、門扉上部の内鍵施錠を徹底してください

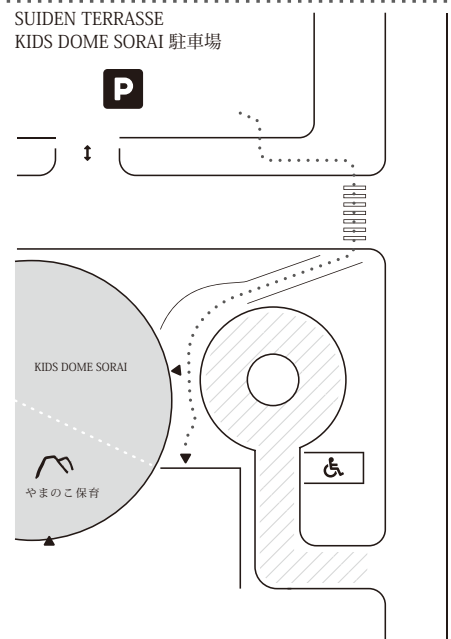
(子どもが知らない間に自力で園外に出ないために徹底をお願いします。保育中も同様の安全管理を行っています。)

朝の送り（7:30-9:15）：保育園門扉前ロータリーを使用できます

特に、8:00から9:00の混み合う時間帯には、ロータリーに複数の車が駐停車する状況が発生し大変危険です。朝の送迎の際には、駐停車の目安を5分程度とさせていただきます。すみやかな送りと移動を済まようご協力お願いします。

夕方のお迎えやその他の時間：KIDS DOME SORAIの駐車場をお使いください。

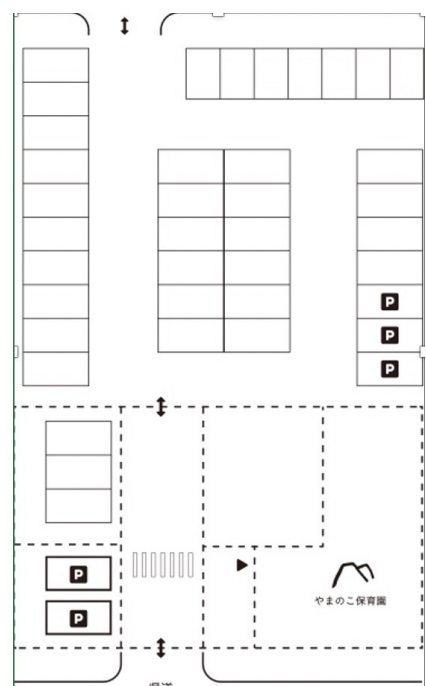
- ※ KIDS DOME SORAIを利用している子どもたちも出入りしますので、事故予防の点からロータリーの使用はできません。
- ※ 赤ちゃんを連れてのお迎えをされる方に限り、例外としてお迎え時もロータリーを使用いただけます。



やまのこ保育園 home

玄関前の駐車スペース（2台）をご使用ください。

- ※ P が保育園の契約駐車スペースとなります。（※スタッフも兼用となります）
- ※ その他、マンション敷地内の駐車スペースへの駐車はご遠慮ください。
- ※ 混み合う時間帯は、なるべく速やかに移動を済ませるよう、ご協力をお願いします。
- ※ やまのこ保育園homeでの行事・イベントなどの際は、SORAI駐車場に駐車してください。



YAMANOKO CHILDCARE CENTER 施設概要

	やまのこ保育園 home	やまのこ保育園
所在地	〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国378-45 Park Side Village Ray 1F	〒997-0053 山形県鶴岡市北京田字下鳥ノ巣6-1 KIDS DOME SORAI 内
連絡先	TEL : 0235-64-8940 FAX : 0235-64-8941	TEL : 0235-26-0700 FAX : 0235-26-0703
児童定員	19名	50名
開園日	2017年9月1日	2018年9月25日
職員構成	施設長・副施設長・事務局長・保育士・保育補助・栄養士・調理師・看護師・事務	
年齢構成	0・1歳児（ふき組） 0・1・2歳児（わらび組）	1・2・3・4・5 歳児
ホームページ	http://www.yamanoko.org	
メールアドレス	info@yamanoko.org	

年齢ごとの児童定数

やまのこ保育園	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
定員50名 ※内、最大25名まで地域枠の方受け入れ可能	1名	3名	12名	12名	11名	11名

やまのこ保育園 home	0歳	1歳	2歳
定員19名 ※内、最大 9名まで地域枠の方受け入れ可能	9名	8名	2名

※地域枠とは、Spiber株式会社社員、及び連携企業社員以外の方のお子さんを指します。